

# 井筒屋だより

第四十四号  
令和六年  
六月号

## 6月29、30日、井筒屋が九份(きゅうふん)に「門フェス」を思いっきり楽しもう!

井筒屋に台湾提灯が飾られ、台湾の九份のようにライトアップされるイベント「門フェス」が、今年も6月29、30日に開催されます。主催は、かさまち考(笠間のまちと通りのこれからをみんなで考える会)。

当日は、「台湾屋台」をテーマにした飲食ブース、占いやマッサージブースを設置し、音楽イベントも開催。飲食ブースでは、台湾の人たちがつくる本場台湾料理や地元人気の飲食店の料理が楽しめます。

29日はこどもたちが楽しめるバルーンアートや駄菓子屋キッチンカー、子ども屋台、ふわふわスライダーなども予定。

30日は笠間特別観光大使の安達勇人さんプロジェクトのライブやきつねの祭典主宰の灯矢さん、笠間稲荷ばやし保存会のステージも楽しめます。

入場無料。収益の一部を

昨年の門フェス



台湾東部沖地震の被災地に送る予定です。

ライトアップは一週間前から実施(茨城台湾総会の全面協力によります)。幻想的なフォトジェニックになりますので、ぜひ撮影にいらしてください。

※ 6月30日は、夏越しの大祓の日です。茅の輪くぐりも笠間稲荷神社で行われます。合わせて半年の厄落としはいかがでしょうか。



安達勇人さんと一緒に楽しもう

小野友五郎の歴史講座  
7月28日に開催

井筒屋歴史講座「近代の幕を開いた誇り高きテクノクラート、小野友五郎」が、7月28日(日)午前10時から11時45分まで、井筒屋3階の会議室で開催されます。講師は、小野友五郎を伝えてゆく会副会長の今泉寛さんを伝えてゆく会副会長の今泉寛さん。幕末から明治にかけて活躍した小野友五郎について、たっぷりとお話します。定員は45名(先着順)。参加は無料。申し込みは井筒屋まで。



これからのイベント

### 万葉亭小太郎の井筒屋の夜会 ～夏に至る夕べの会～

日時: 6月22日(土)午後6時30分(開場6時)  
出演: 万葉亭小太郎(落語) 純翠(朗読)  
ばーばらひら(紙芝居)

夏の夜にふさわしい、落語、朗読、紙芝居をたっぷりとお届けします。



木戸銭: 500円

### 夏休みこどもイベント

- ▼井筒屋こどもワークショップ 竹トンボをつくろう 7月30日(火) 午前10時~12時
- ▼井筒屋こども絵画教室 8月4日(日) 午前10時~午後3時
- ▼井筒屋こどもワークショップ バードコールをつくろう 8月25日(土) 午前10時~12時

夏休みの作品制作として提出できる内容です。詳細は次号で。予約受付は6月6日から、井筒屋まで。

かさま歴史交流館井筒屋 笠間市笠間 987 電話 0296-71-8118

開館時間 午前9時~午後9時 月曜日休館(月曜日が祝日のときは火曜日が休館となります)

~このお便りでは、井筒屋の日々の様子やイベントの開催予定等をお知らせしています~



歴史こらむ

芸術の街の先駆け

笠間は陶芸家だけでなく、音楽や美術のアーティストが数多く住み、独自の活動をしているアートの街、芸術の街である。その基礎を作ったのが長谷川仁(1897〜1976)という笠間にルーツを持つ画商である。先祖は笠間藩の藩医。笠間の小学校で学び、明治学院大学を卒業。昭和初期に東京の銀座に日本の画廊の先駆けとなる「日動画廊」を設立。太平洋戦争後に世界の美術館や画廊を視察し、常設館画廊

を新設。日本を代表する洋画商となった。昭和39年に、当時の笠間市長・長谷川好三が「芸術の村」を建設する計画に対して仁は初代村長となり、資金援助を行い、鎌倉市にあった北大路魯山人のアトリエを移築した。これが「春風万里荘」である。

芸術の村づくりは決して順風満帆ではなく、苦労を重ねながら少しずつ発展し、現在の形となった。昭和47年には「笠間日動美術館」を建設。世界的な美術品・工芸品を身近に感じられる場所となっている。

春風万里荘の長谷川仁の銅像



現在、茨城県陶芸美術館では企画展「魯山人クッシング」が開かれている(7月7日まで)。仁の足跡を思いながら、この展示会を見るのもいいだろう。(雄)

【井筒屋ニュース】

達人のお茶を味わう

高山烏龍茶の達人・張峻和氏の作ったお茶を、笠間の器で味わう「笠間の器で本格的に台湾茶」が開かれ、杉山路代先生による本格的なお点前の台湾茶がふるまわれました。



民話を語る会が井筒屋で始動

囲炉裏を囲んで笠間の民話を語る会による、民話語り〜ひとつきいてくだされ〜が開かれました。次回は7月21日(日)午前11時から開催予定です。



朝から落語を満喫

「万葉亭小太郎の井筒屋朝の会」で、大勢のお客様が朝から落語を満喫しました。



琵琶とピアノで民話

笠間の民話が、石引康子さんの琵琶と小林萌里さんのピアノによって演奏されました。

【後記】

連休中に稲田の西念寺で開かれた浪曲の会に行きました。戦時中「唄入り観音経」で一世を風靡した浪曲師・三門博が、晩年は稲田に住み、西念寺にお墓があることから、孫弟子の三門綾さんが企画した会です。会の中ほど、案内役の方から「笠間市は図書館にでも三門博コーナーを作るべき」という声が出ましたが、正直、三門博を知らなかったというのが本音。他のお客様も、同じような反応でした。資料がほとんどなく、地元の方の記憶にも残っていない方ですが、芸人として超一流だったことは間違いないです。改めて、笠間の先人の一人として、三門博の足跡を掘り起こして、記録したいです。(雄)